

学校教育目標	豊かな心をもち他のために行動できる子
目指す学校像	「児童が生き生きと学び、真の学力が身に付く学校」「あいさつがあふれ、児童や教職員が協働できる学校」「安心・安全で花と緑と潤いのある学校」

重点目標	1 真の学力の定着 2 豊かな心の育成 3 開かれた学校づくり 4 安心・安全で花と緑と潤いのある環境 5 教職員の資質向上及び働き甲斐のある職場環境づくり
------	--

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価			学校運営協議会による評価		
年 度 目 標		年 度 評 価			実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ○昨年度の全国学力・学習状況調査、市の学習状況調査では、やや平均を下回っている。 ○児童の学習への取り組み方に個人差が見られる。 <課題> ○必要な情報や資料を選んだり、考えたことを自分の言葉で伝えたりすることを苦手である。 ○身に付けた知識・技能を活用して、協働的な学びに繋げる工夫が必要である。	・基礎学力の定着 ・学校課題研究や指導訪問などでの授業力向上 ・地域の実態を生かしたカリキュラムマネジメントの充実	① 授業のはじめに前時の振り返りをしたり、ICTを活用した繰り返し学習をしたりし、基礎学力の定着を図る。 ② 教員相互の授業参観、意見交流を行い、教員の授業改善を図る。	① 学校評価アンケート「授業は分かりやすい」項目肯定的回答昨年度より増 ② 教員の「キャリア振り返りシート」の「学習指導」項目自己評価向上			
2	<現状> ○配慮や支援を必要とする児童に対して、組織を生かした迅速な対応が必要である。 ○「こまっとな〜い?運動」の取組を継続中。学校、家庭、地域でのより一層の浸透を目指している。 <課題> ○コミュニケーション力不足等が起因と思われる児童同士のトラブルが多い傾向がある。 ○校内委員会等を通して、児童の実態や状況に応じた支援や対応、専門職や関係機関との連携を充実させることが必要である。	・児童一人ひとりに寄り添った積極的、組織的、かつきめ細やかな支援体制の充実 ・いじめに迅速に対応できる体制づくり、家庭・地域との協力体制の構築	① 月1回の生徒指導委員会で児童の様子を全教職員で共有をし、積極的、組織的、継続的な対応、支援をする。 ② 担任や担当からの情報が確実に関係主任、管理職に報告、対応策が検討できる体制づくりをする。	① 月1回の生徒指導委員会で児童の情報共有、積極的、組織的、継続的な対応、支援ができたか。 ② 学校評価アンケート「学校は楽しい」「思いやりの心」項目肯定的回答昨年度より増			
3	<現状> ○家庭、地域の協力を得て、教育活動を展開している。 ○学校行事や学校 Web ページ等で学校の様子を積極的に発信している。 <課題> ○コミュニティ・スクール体制のより一層の充実を図る。 ○学校運営協議会において、児童の願いや思いを土台とし、さらなる取組案の策定をする。	・学校の教育活動の積極的周知、家庭・地域の協力体制の充実 ・学校運営協議会を中心とした学校、家庭、地域の協力体制の強化	① 授業参観、学校公開や学校行事等を公開したり、学校 Web ページで教育活動を紹介したりし、教育活動を理解、協力を得る。	① 学校評価保護者アンケート「開かれた学校づくり」項目肯定的回答昨年度より増			
4	<現状> ○児童が安心して過ごせる居場所(教室、Sola る一む、保健室等)づくりに学校全体で取り組んでいる。 ○校舎内外の縦割り清掃や美化活動を通して、落ち着いた環境づくりに取り組んでいる。 <課題> ○体育館や教室の床など施設の老朽化等が見られるが、修繕までは時間を要す。 ○児童の登下校や学校生活における安全確保については継続して注意喚起や危機意識の醸成が必要である。	・全ての児童が安心して過ごせる居場所の整備・充実 ・施設設備の安全管理、潤いのある環境づくり	① 児童の思いに寄り添い、安心して過ごせる居場所をつくる。 ② 児童の興味関心を高めるように掲示物を工夫し、落ち着いて過ごせる環境にする。	① ユニバーサルデザイン、児童の頑張りが見える環境づくりができたか。 ② 教室や校内掲示等定期的に作成、張り替えることができたか。			
5	<現状> ○教職員一人ひとりが業務の見直しをもち、精選、見直しをしながら取り組んでいる。 ○学校課題研究や日々の教材研究等により、自身の資質向上に努めている。 <課題> ○校務分掌や学校・学年行事等で負担が多い教職員が見られる。 ○授業等におけるICTの効果的活用については、教員間で取組の差がやや見られる。	・学校課題研究及び教職員の資質向上 ・教職員一人ひとりにとって働き甲斐のある職場づくり	① 学校課題研究、教員の相互授業参観により、一人ひとりの資質向上を図り、また管理職による指導・助言を学期に1回実施する。 ② 人事評価制度等を活用し、教職員の資質向上に繋げる。	① 学校課題研究の計画的な実施、管理職による学期1回の授業参観、指導・助言をできたか。 ② 人事評価制度のキャリアの振り返りシート等をもとに教員の資質向上への指導・助言ができたか。			
		① 業務の精選、見直しを行い、教職員の負担軽減、健康保持に繋げる。 ② 教職員の思いや願いに寄り添えるようにコミュニケーションをとり、良好な職場環境をつくる。	① 業務の精選、見直しを教職員の意見をもとに5つ以上行うことができたか。 ② 「教員の意識調査」の「風通しの良い職場」項目肯定的回答増				

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

